

科目名	東アジア文化特殊研究	担当者	シミズ 清水 トオル 享	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	--------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	中国における文化人類学と歴史学の研究史について学ぶ。中国の文化人類研究学は漢族および「少数民族」についてその文化や社会を多角的に研究してきた。こうした中国の文化人類学研究のその蓄積と特徴について総合的に考察する。さらに長い歴史を持つとされる中国についての歴史学的な視点を振り返り、それを整理し、把握する。		
到達目標	中国における文化人類学の研究史を把握する。中国史のさまざまな研究の蓄積とその展開について把握する。		
学修方法	まずは基本教材を精読すること。その上でできるだけ多くの関連文献を参照しながら、レポートを作成する。レポートはテーマ設定、関連文献の選び方、章立てや草稿など、段階的に担当者とやり取りを進めながら作成する。		
スケジュール	前期は基本教材1のレポート課題2編を9月中旬までに提出のこと。 後期は基本教材2のレポート課題2編を1月の課題提出締切日までに提出のこと。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	教材の理解、レポート課題選定および内容の妥当性を評価。
	平常評価	20%	レポート作成に向けての課題の取り組み方やその課題解決への積極性などを評価。
履修者への要望	履修者は積極的に課題に取り組んでほしい。基本教材を精読することはもちろんのこと、多くの関連文献を参照し、精読した上でレポートを作成してほしい。このレポートをステップとして博士論文作成に取り組めるようにしてほしい。		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 瀬川昌久，西沢晴彦編訳 教材名： 『中国文化人類学リーディングス』（風響社，2006年） ISBN:978-4-89-489041-1 3,000円＋税
	本教材は中国における文化人類学研究で重要であると考えられている論考をまとめたものである。ラドクリフ＝ブラウン，レイモンド・ファース，費孝通，マリノフスキー，フリードマン，スキナー，林耀華，エブリー，ワトソン，陳其南，ウォード，ハレルといった錚々とした先達の論考が掲載されている。
参考図書	末成道男編『中国文化人類学解題』（東京大学出版会，1995年）ISBN978-4-13-056046-7
履修上のポイント	全体を精読し，さらに各論考を通読すること。中国における文化人類学の研究の動向や問題点を全体的に把握し，漢民族研究，「少数民族」研究などの研究史を考察すること。また各論考末に挙げられている参考文献も適宜参照して考察を進めてほしい。
レポート課題 1	漢民族についての文化人類学研究史 留意点： 中国における漢民族研究がどのように進められたか，その全体を振り返る。
レポート課題 2	「少数民族」についての文化人類学研究史 留意点： 中国における「少数民族」研究がどのように進められたか，その全体を振り返る。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 礪波 護，岸本美緒，杉山正明 編 教材名： 『中国歴史研究入門』（名古屋大学出版会，2006年） ISBN:978-4-8158-0527-2 3,800円＋税
	本教材は中国の歴史研究の概要について広く，深くまとめたものである。2006年以降の研究成果については下記参考図書を参照すること。
参考図書	年一回発行される「〇〇年の歴史学界 回顧と展望」『史学雑誌』史学会
履修上のポイント	全体を通読し，中国における歴史研究の蓄積を知り，その上で履修者自身の関心がある箇所，あるいは履修者自身の研究に関わる部分を精読すること。そしてできるだけ多くの参考文献を参照しつつ，履修者自身の関心がある部分，あるいは履修者自身の研究に関わるものをテーマとして設定し，その研究史をまとめること。
レポート課題 1	中国における歴史研究の動向と課題について(その1) 留意点： レポートのテーマは各自が設定すること。テーマは教材内の各論考を参考にして設定し，考察すること。
レポート課題 2	中国における歴史研究の動向と課題について(その2) 留意点： レポートのテーマは各自が設定すること。テーマは教材内の各論考を参考にして設定し，考察すること。レポート課題1とは別にテーマを設定すること。